



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2014-2015)

■ 国際会長(IP) Isaac Palathinkal アイザック ハラシカル (インド)

"Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」

スローガン "Do it Now" 「今すぐやろう！」

■ アジア会長(AP) Yaz Okano 岡野 泰和 (大阪土佐掘)

"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」

スローガン "One Asia One world" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」

■ 西日本区理事(RD) 松本 武彦(大阪西)

"To walk together,echoing each other" 「響きあい、ともに歩む」

ーこころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆー

■ 六甲部部长(DG) 多胡 葉子(宝塚)

『わたしとあなたのY'sダムをYMCAと共に ユース・交流・地域』

■ 西宮クラブ会長(CP) 山口 吉郎

『もっと楽しく、そしてワイズダムらしく！』

"Let's enjoy Y's activities"

★ 2014年7月 西日本区強調ポイント "Kick-off" "EMC-C"

河原 正浩 EMC事業主任(京都トッパス)

「MはMembership。手を挙げワイズソングを歌えば、先輩・後輩関係なく、常に声を掛け合い親睦を図り、より良い関係を築きましょう。

CはConservation。素晴らしいクラブ作りに向けて、皆さんのワイズ力で未来予想図を描きましょう。」

2014年7月第795号  
《68期1号》  
Since 5.17.1948

スポンサークラブ

・大阪クラブ  
DBC 締結(2007)  
・近江八幡クラブ  
・広島クラブ

クラブ主役員

会長 山口 吉郎  
副会長 山本 常雄  
直前会長 堤 一幸  
書記 廣瀬 一雄  
書記 西山 茂夫  
会計 足立 康幸  
会計 濱崎 進一  
監事 岩田 健司  
担当主事 宗行 孝之介  
部地域奉仕環境主査 堤 一幸

今月の聖句 (選者 山口 吉郎)

だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることで  
コリントの信徒への手紙 8:11

## 2014年7月第一例会ご案内

日時 7月11日(金) 19時~21時

会場: 西宮YMCA保育園3F

ドライバー: 足立康幸メン、岩田健司メン

1. 開会点鐘 堤会長
2. ワイズソング・聖句朗読 一同
3. ゲスト・ビジターの紹介 堤会長
4. 会長役員引継ぎ式  
堤直前会長→山口吉郎新会長
5. 食前感謝・会食
6. 今期の活動方針・計画・新役員紹介 山口会長
7. 前期会計決算報告・監査報告  
山本直前会計 岩田監事
8. 今期会計予算 足立会計
9. 小野次期西日本区 EMC 主任活動援助資金  
贈呈式 山口会長
10. お誕生日お祝い、ワイズニュース 山口会長
11. YMCA ニュース 宗行館長
12. 閉会点鐘 山口会長

## 【6月例会出席状況】

第1例会(6.6 金)	第2例会(6.27 金)
メン・ウィメン 20名	メン・ウィメン 13名
メネット・コメット 0名	メネット・コメット 0名
ゲスト・ビジター 0名	ゲスト・ビジター 0名
合計名 22 MU 2名	合計 13名
出席率 95.7%	
在籍数 23名	(累計出席率 93.8%)

## 【お誕生日】

岩田成子メネット(7/8), 濱崎保津美メネット(7/16)  
藤原百合子メン(7/20),

## 【ファンド・BF累計】5月

ニコニコファンド	3300p	累計 59300p
Brotherhood Fund (目標 345\$)	5700p	累計 49500p
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600)	¥3800	累計 ¥33000

**我らのモットー: To acknowledge the duty that accompanies every right !**  
(強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う)

### 【7月の予定】

11日(金) 第一例会 キックオフ  
13日(日) チャリティーワイン ポートピアH  
19日(土) 役員慰労会(鯉の会) 三宮好富  
25日(金) 第二例会 西宮 YMCA  
26日(土) 六甲部第一回評議会 神戸 YMCA

### 【8月の予定】

7(木)~10(日)第71回国際大会 インドチェンナイ  
小野メン参加  
8日(金) 第一例会  
22日(金) 第二例会

## 【会長メッセージ】

会長 山口 吉郎

堤会長からバトンを受け取り、新会長となりました山口吉郎です。この一年間どうぞよろしくお願いいたします。堤会長、1年間お疲れ様でした。西宮クラブにお世話になり、早くも3年余り経ちますが、その間気ままに過ごさせていただき、実務的に不案内のまま現在に至っています。泥縄的ですが、これから学んでいくつもりですので、皆様のご指導を受けて楽しい西宮クラブになるよう微力ながら頑張る所存です。基本的には、現在まで脈々と受け継がれてきた活動を引き継ぎ、その中で少しでも広がる展開ができればと考えています。

会長主題を、「もっと楽しく、そしてワイズダムらしく!」としました。単純な主題ですが、3年在籍しての思いです。楽しく有意義な活動を実践できれば、支援活動や環境活動の活性化、会員増強や出席率アップ等に繋がると考えます。

具体的な活動計画としては、①例会の充実②YMCA支援③東日本被災地支援④地域環境活動⑤EMC・新メンバー増強を掲げています。メンバーの皆様と一丸となって達成したいと思います。よろしくお願いいたします。

<2014-15年度 西宮クラブ役割体制>

会長: 山口吉郎  
副会長: 山本常雄  
書記: 廣瀬一雄・西山茂夫  
会計: 足立康幸・濱崎進一  
監事: 岩田健司  
担当主事: 宗行孝之介  
Yサ・ユース事業: 岡田佑一郎・万本敬一  
地域奉仕環境事業: 石井恭子・阪根新  
EMC事業: 長井慎吾・馬場一郎  
ファント事業: 浅野純一・丸山悦治  
交流事業: 山口政紀・濱浩一  
広報事業: 小野勅紘・三島浩司  
メネット: 山口まり子・宮地京子  
プリテン: 馬場貴英・藤原百合子

メール委員: 山口吉郎

## 【第一例会報告】

ドライバー: 藤原百合子メン、岡田佑一郎メン  
6月は今年度のクラブ活動の報告とまとめの議事例会でした。

堤会長より掲げられた4項目の活動方針①例会の充実と工夫、②東日本大震災被災地支援、③地域への発信と連携・協働、④新メンバーの獲得、についてスライドを使用し、毎月の例会の内容を振り返りながら活動報告がなされました。

①は例会日の変更によりメンバーの出席率が向上した(特に第二例会の出席率は高かった)。

②の復興支援は、ふれあいネットワーク、震災復興フェスティバル有馬富士への参加が出来、又ワイズの各イベントで宮古支援物品の販売が出来た事は評価できているが、被災地への訪問が実現できなかったのが残念だった。

③については十分な活動が出来なかったが、ユースコンボケーションへのリーダー支援と、その報告会が開催できた事、クリスマス例会に理事に出席いただいた事は特に印象深いとの報告がされました。

④の新メンバー獲得3名は実現できず今後も引き続き努力するとの事でした。

全体としては1年間、前しか見えなくて後ろを振り返り検証する時間と余裕がなかったとの総括でした。引き続き、山本会計より今季予算の実績見込みが報告、承認され、山口吉郎次期会長より新体制の役割分担の再確認と、次年度の予算案が足立次期会計より発表されました。

次年度予算書作成について、大会出席補助等の目的と内容の明確な定義と予算額の再検討が必要ではないかとの意見があり、今後役員会で検討される課題です。

誕生日のお祝い、Y'sニュース、YMCA 報告があり堤会長の最後の閉会点鐘で終了しました。

堤会長一年間ご苦労様、有難うございました。  
出席者は、浅野、足立、石井、岩田、岡田、小野、  
阪根、堤、長井、馬場(一)、馬場(貴)、濱、濱崎、廣  
瀬、丸山、万本、宗行、三島、山口(吉)、山口(政)、  
山本の各メン

報告 岡田

## 【西日本区大会報告】

### 廣瀬 一雄ワイズ



6月の第二例会で堤会長より、みだし報告をブリテンに書くよう依頼され、NOと言わずに・・

半月庵での前夜祭には山口政紀メン・メネットと廣瀬メン・メネットが参加。詳細は省略させていただき、その参考には宝塚クラブの7月ブリテンに石田直前会長がレポートされ、大会報告は杉谷会長、今田メネットが寄稿され、それぞれの思いを書かれていました。次に若林メンの原稿の一部をコピーさせていただきました。

“今回の大会は、始から終わりまで、まるで音楽会のような雰囲気のもとで、多彩なプログラムが整然と進められた。まず、開会式の前奏曲として小学6年生と2年

生姉妹によるバッハ作曲「2つのヴァイオリンのための協奏曲」に目も心も奪われ、その後も進行するプログラムに合わせ、会場を和ませ、瞑想の安らぎなど、多彩な生演奏が行われ、実に見事な演出であった。閉会宣言直後沸きあがった熱烈な拍手とスタンディングオーベーションが大会の大成功を祝った。”

次なる原稿は第3回六甲部EMC事業委員会案内からの抜粋です。筆者は西宮の小野メン。クラブからは今回16名もの参加がありましたが、区大会初参加のメンも多数おられましたが感想をお聞きしたいものです。

“この度は平和と錦帯橋と基地の街、岩国において「第17回西日本区大会」が華々しく開催され、約800名を越すワイズを集めて成功裏に終了いたしました。例年ならば出席者が減少する二日目においても会場内は満席で、とりわけフィナーレにおいては、会場の満場の出席者からスタンディングオーベーションで、高瀬理事はじめ大会実行委員会のスタッフを称え、高瀬理事も感涙で応えるというシーンは感動的な集結でもあり、今後のワイズ活動に希望を予感させるような場面でもありました。”

大会のホストクラブは岩国、岩国みなみクラブでしたが広島、呉などの西中国部の各クラブも協カク

ブとして奮闘。広島クラブの川口メンには3クラブ交流会では特段のお世話をいただき、28日土曜日に電話で「御疲れは出ていませんか？」との尋ねに「年ですなえ・やっど・・」とお返事。受付チームのリーダー、アート展のお世話と、ご苦労様でした。

そして最後に神戸ポートのメンで神戸Yの水野総主事。

マンスリーレポート6月27日号からのコピーです。

**7. ワイズメンズクラブ西日本区大会、開催** 毎年開催されている西日本区大会が今年は去る6月14日(土)～15日(日)に、山口県岩国市で開催され、750名のワイズメンが全国から集まりました。六甲部からも多数の方が参加されましたが、スタッフでは谷川尚さん(宝塚クラブ担)、藤田良祐さん(芦屋クラブ担当)と私(神戸ポートクラブ所属)が参加しました。岩国市は自衛隊の基地があることでも知られていますが、オスプレイが沖縄の基地に配備される前に、岩国の基地を経由したことで有名になりました。聖日礼拝の説教で、地元教会の大川牧師が基地問題に触れ「私たちは微力ではあるが、無力ではない」とお話されたことが印象的でした。ともあれ、ワイズメンの皆さんは活発に、YMCAと共にあろうとされています。

以上3者三様の感想で興味深く読ませていただきました。

大会終了後交歓昼食会を「天亀茶屋」で開催。西宮クラブ山口政紀次期交流委員長が担当され呉クラブ・滋賀蒲生野クラブも参加。さすが手慣れた進行ぶりで、あっという間の懇親のひと時でした。次回の大坂での区大会3クラブ交流会が待ち遠しいですね！どうぞよろしく。

## 【ワイズニュース】

会長 山口吉郎

1. 会長活動計画 長尾事務局長に提出済
2. 前期半年報 多胡部長提出済
3. 第1回 これからの宮古支援を考える会  
6月23日 西宮YMCA C会議室  
馬場一、山本、濱崎、長井、石井、山口よ
4. 六甲部メネット会  
7月5日 三宮ターミナルホテル  
山口まり子メネット・宮地メネット出席
5. 三宮会館再建についての会員・職員懇親会  
7月9日 神戸YMCAチャペル又は会議室  
堤メン・山口吉メン出席
6. 六甲部第一回評議会 7月26日  
14:00-17:00 1-2部 神戸YMCA  
17:30-20:00 懇親会 ANAクラウンホテル  
※7/12 申込み締切

- 7. 第2回 これからの宮古支援を考える会  
7月23日 西宮YMCA
- 8. 神戸YMCAウエルネスセンター竣工式  
8月30日
- 9. 中部部会  
8月31日 14:00-17:00 四日市都ホテル

## 【YMCA ニュース】

宗行 孝之介メン



いつもお支えありがとうございます。あっという間に春が過ぎ、梅雨にはいつてもまいりましたがみなさま如何お過ごしでしょうか？

さて、ワイズも年度替りで、堤会長以下みなさまに心から感謝を申し上げるとともに、山口会長にもよろしくお願ひしたいと思います。昨日まで研修で東京 YMCA 山中湖センターに行っておりました。このキャンプ場は日本で最古の組織キャンプ場といわれており、サイト内にはまだその面影をのこした建物もみられます。少年時代を余島キャンプで過ごした身にとっては本当に懐かし、YMCA は違えど当時のキャビンは外見、造作もほぼ同じ、ということは当時の YMCA キャンプは同じコンセプトに基づいて、建設されたことが伺えます。当時とは時代背景も異なりますし、子どもたち、青年たちを取り巻く社会環境を大きく変動してしまいました。しかし、そんななかにあってもなお「変えてはいけないもの」を大切に据えながらこの夏をすごしたいと思いつつ研修をしてまいりました。わたしは僭越ながら日本 YMCA 野外活動のお世話役をいたしておりますが、そういった意味で今回は若い諸君に「教育キャンプの本質を学ぶ」ことをメインテーマに全国から 25 名のスタッフは集いました。これからは青少年を健やかに育む YMCA でありたいと思います。

## 【リーダー会便り】

3 回生 小谷 ゆめ実

キッズは、カヌーを漕ぎました。幼児さんなので、漕いで進むことよりもカヌーに乗ってパドルを持つという体験をすることに趣を置いて活動をして、子ども達は初めてのカヌーにわくわくしながらとても楽しそうでした。

ジュニアは、六甲山 YMCA に行つてハイキングをしました。今回は、保護者も参加できるファミリープログラムで、総勢 100 人ほどで行いました。グループごとに相談し、散策しながら、親子ともに新たな発

見や関わりを持つことができたのではないかと思います。

シニアは、芦屋市の荒地山でハイキングをしました。今回は、保護者の方にも参加していただき、子どもたちと一緒に野外活動を体験してもらいました。高学年なので、子どもたちが荒地山でやりたいことを自分たちで話し合つて決めて、グループごとに自由に活動することができました。

これからもたくさんの体験を通して子ども達も私達も成長していきたいと思ひます。

## 【DBC 3 ワイズ交換ブリテン】

近江八幡クラブ 坂井 繁



「交流ブリテン」はかつて2004年から2005年にも広島クラブと近江八幡クラブとで行われたと記憶しております。その際はメンバー

全員でもつて終結することなく途中頓挫しましたが、今回は是非完結したいものです。

今回当クラブとしては3番手の登場となります。野球では重き位置ですが、「継続は力なり」の意味合いからの登板です。ここで少し自己紹介致しますとワイズ暦は20年、スポンサーは「近江八幡クラブのワイキチ、中興の祖」と言われた今は亡き堤 浩二ワイズです。念のためですが、日本画家の現メンバー堤 栄ワイズとは全く関係ございません。仕事は、住宅の新築・リフォーム、宅地開発、賃貸といった世間的には悪評の「不動産屋」という職種で、現在も老骨に鞭打っております。年齢はクラブチャーターと同じ1948年、家族は、現在妻、母との3人の本当に寂しい生活を致しております。

さて ここで3クラブの交流を紐解いて見ますと、広島クラブさんとのDBC締結書類が私自身聞き及んでいるところ両クラブとも全く無く、たぶんチャーター一年と聞いております。間違っておりましたらご訂正下さい。締結後交流もしばらくしてから途絶え、1998年六甲での会長研修の際、故益国ワイズの密命帯びた川口ワイズのお声掛けで交流が再開され今日に至りましたのは周知の通りです。一方西宮クラブさんとは、元々同じ西区で広島クラブさんとは交流があり、西部3分割に伴い DBC が無い西宮クラブさんのお声掛けで、2007年 西日本区大会において3クラブトライアングルが締結されたのは未だ記憶に新しいところです。

3クラブ締結後は、輪番制でもつて担当クラブが準備万端の下での「3クラブ合同例会」でしたが、昨今は個人的にもお出かいすることが多く本当に肩肘の張らないフランクなお付き合いを続けさせていただいております。3クラブ合同による「60周年記念例

会」も西日本区において初めての企画でしたが、今後周年例会の数が多くなる中、一石を投じた方法だと考えております。正にこの関係が「兄弟」を表すものです。

メンバーと違って未来永劫存在するのが「クラブ」と考えております。今後とも3クラブが切磋琢磨してその方向性を続けられることを願っております。



をした写真」を送ることになった。

川上メンがバンジョー、河合ウィメンがフルートの名手とお聞きし、私も調子に乗って習い始めて3、4年のギターの話をして、全員楽器を持った写真にしたらとよけいなことを言ってしまう、帰路反省しきりの初顔合わせであった。(一向に上達せず、まだお聴かせできないのです)

## 【西日本区だより-1】

2015-16 年度次期西日本区

EMC事業主任 小野 勅紘

この度西日本区次期遠藤理事期のEMC事業主任の大役を担うことになり、長い旅路の船出に立ちました。今期より西日本区の事業は7事業から5事業に統合され、中でもEMC事業が一番稼働時間も移動距離も大きいと聞いていますので、激務が予想されます。

所属する西宮クラブからは大きなご支援をいただく反面、「本当におまえで大丈夫なのか」とのご心配の方が強いのではないかと思います。ともあれ、船は既に陸を離れており、戻ることは出来ません。しからば黒子に徹して、受ける前より多少なりとも道が開けないと意味がないと思われます。

そんな遠藤次期理事より「まずは顔合わせをしようよ」とのお声が掛かった。6月8日(日)18時30分から会場は梅田の阪急グランドビル27階にあるイタリアンレストラン「パピミラノ」。30分ほど早く梅田に着くと既に遠藤次期理事と正野次期書記が待っていた。程なくして三々五々集まり、準備会兼初顔合わせが始まった。延約3年間に亘る長丁場のスタートである。(理事は5年)

メンバーは遠藤通寛次期理事(泉北)、正野忠之次期書記(大阪河内)、飯沼眞次期会計(泉北)、以下次期主任で、Yサ・ユース事業が河合久美子(京都ウエスト)、地域奉仕・環境事業が川上孝司(京都パレス)、EMC事業が私小野で、国際・交流事業が中井信一(奈良)、メネット事業が遠藤夫人でもある遠藤典子メネット(泉北)の面々。阪和部と京都部に挟まれて六甲部は私1人の黒一点の構成。大阪湾を囲んで、六甲連山、若狭湾から紀伊水道に至る大トライアングル組織である。(活断層?)

まずはそれぞれ出席者が自己紹介をし、後は和やかな顔合せよろしく、小手調べの懇親の時。初めてお会いしても旧知の友人のような交わりが出来るのは、さすがにワイズの良さでしょうか。遠藤次期理事の発案で、友人に似顔絵の得意な人を知っているの、ロースターや名刺に載せる「一番いい顔

左より小野勅紘次期EMC主任、正野忠之次期書記、遠藤通寛次期理事、遠藤典子次期メネット主任、飯沼眞次期会計、河合久美子次期Yサ・ユース主任、中井信一次期国際・交流主任、川上孝司次期地域奉仕・環境主任の面々